

「成長の秋」となるように

朝夕の涼しさに、ようやく秋を感じる季節となりました。秋といえば、一つは「スポーツの秋」です。現在、第 20 回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）が開催されており、各種目で熱戦が繰り広げられています。10 月 18 日（日）からは愛知・名古屋 2026 アジアパラ競技大会が開催されます。出場選手は勝利を目指して直向きにプレーする姿が、そして選手たちを心から応援し、喜んだり励ましたりする応援団の姿が放映されています。そのような様子に心を打たれます。また、競技が終われば握手やハイタッチなどでお互いをたたえ合う姿から、同じ競技者として相手やチームメイトを尊敬し、尊重していることも伝わります。スポーツの素晴らしさを感じる場面です。

次に「実りの秋」です。秋は多くの作物が収穫の時期を迎えます。中庭の花壇（畑）には、子どもたちが育てた野菜が収穫の時期を迎えようとしています。子どもたちもとても楽しみにしている様子です。また、作物への感謝と翌年の豊作を祈り、各地で秋祭りが開催されます。子どもから大人まで、楽しみにしている方がたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。

そして、「芸術の秋」です。秋は気候が穏やかで、集中力や感受性が高まるため、文学や美術などに向き合うのに適した季節とされています。学校では図工科で絵を描いたり工作したり、音楽科では音楽会に向け練習に取り組んだりしています。作品を丁寧に仕上げようと色塗りに励む子どもたちや、仲間と気持ちを一つにして楽しく楽器を演奏している子どもたちが見られます。本当によくがんばっています。また、秋の夜長を利用して読書に集中することも「芸術の秋」の楽しみ方の一つです。子どもたちには、たくさん本のふれてほしいと思っています。



このように、学習や運動、生活に落ち着いて取り組める絶好の季節になり、様々な活動が活発になっていきます。10 月には 6 年生の修学旅行をはじめ、各学年で校外学習を行ったり、外部講師を招いたりする学習を計画しています。また、自己肯定感や自己有用感を高め、自他の人権を尊重しようとする意欲や態度を育むことをねらいとして、人権について考える期間を設け、人権集会を開催しています。7 日（水）のオープンスクールでは、親子学習、PTA 人権講演会を行います。自分を大切にするとともに仲間を大切にすること、お互いを認め合うことなどを通して、人権を大切にする思いやりのある学校になるよう、さらに取組を進めます。多数のご参加をお願いいたします。

10 月に入ると令和 8 年度の折り返しになります。子どもたちが目標をもちしっかり考えて取り組む活動や、仲間とともに協力して取り組む活動など、様々な活動を通してまた一歩成長すること、まさに「成長の秋」となることを願い、教職員一同、心と力を合わせ教育活動の充実に努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後とも温かなご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。